

編集後記

この度、近畿大学医学雑誌 第49巻第3・4号を発刊するにあたり、多くの貴重な研究成果を提供いただいた投稿者の先生方、そして編集にご協力いただいたすべての皆様に、心より御礼申し上げます。今回も様々な分野からの先端的かつ実践的な論文が揃い、現代医学の発展に寄与する内容となりました。新しい知見を共有し、将来の医療の可能性を広げるための一助となれることを誇りに思います。

藤田和利先生による総説「腸内細菌叢と前立腺癌」では、腸内細菌叢と前立腺の関連性が詳述されています。近年の研究により、腸内細菌が前立腺に影響を与えることが明らかとなり、藤田先生は腸内細菌叢が宿主の免疫や代謝に与える影響について解説しています。この知見は前立腺癌の予防や治療に新しい可能性を示唆しています。

後藤公志先生の「人工股関節置換術：進化の歴史と今後の展望」では、人工股関節置換術の進化について述べています。1970年代以降の技術進化により、人工股関節置換術は患者のQOLを向上させる手術として発展してきました。現在ではナビゲーションやロボット技術の導入により、設置精度が向上し、低侵襲手術が可能となっています。最新の材料技術も耐用年数を延ばし、患者の負担を軽減しています。

また、本号では、近畿大学医学部の学生によるロンドン、ベトナム、タイでの海外研修レポートも掲載されています。学生たちは異文化理解や医療現場での学びを体験し、特に多様な背景を持つ患者への配慮を学びました。この国際研修は、将来の医療活動に役立つ貴重な経験です。

本誌は、これからも様々な分野の研究成果を掲載し、医療従事者や研究者の知的好奇心を刺激し、未来の医学に貢献するための情報発信を行ってまいります。今回の発刊にあたりご尽力いただいたすべての皆様に改めて感謝申し上げます。本誌が多くの皆様の医療・研究活動の一助となることを祈念いたします。

近畿大学医学雑誌 編集委員長
大塚 篤 司

今年度、御多忙の中 近大医誌と Acta Med Kindai Univ に投稿された論文を査読して頂いた先生方に感謝の意を表して下記にお名前を列記致します。

甲斐田勇人（放射線診断学）
加藤 寛章（上部消化管外科）
川上 尚人（腫瘍内科）
木村 豊（奈良病院 消化器外科）
西郷 和真（脳神経内科）
坂口 元一（心臓血管外科）
篠崎広一郎（救命救急センター）
鈴木 智詞（奈良病院 循環器内科）

大東 弘治（内視鏡外科）
中澤 学（循環器内科）
野崎 祐史（血液・膠原病内科）
花本 仁（奈良病院 血液内科）
林 秀敏（腫瘍内科）
肥田 仁一（奈良病院 消化器外科）
平山 暁秀（奈良病院 泌尿器科）
渡邊 智裕（消化器内科）

近畿大学医学会役員

会 長	西 尾 和 人	幹 事(編集)	大 塚 篤 司
副 会 長	東 田 有 智	監 事	重 吉 康 史
幹 事(庶務)	松 村 謙 臣	評 議 員	医学部主任教授
幹 事(会計)	永 井 義 隆		

編 集 委 員 会

大 塚 篤 司 (編集長)
伊藤 彰彦 岩永 賢司 上 裕 俊法 中川 和彦
(教育講座)
西尾 和人
(シリーズ最新のがん)

「原稿作成の手引き」は各巻の第1号にあります。
また必要な方は編集部宛お申込み下さい。

近畿大学医学雑誌

第49巻 第3・4号

令和6年12月4日 印刷
令和6年12月18日 発行

発 行 人 西 尾 和 人

編 集 人 大 塚 篤 司

発 行 所 近 畿 大 学 医 学 会

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377番地の2
近畿大学医学部内

印 刷 AP リ ュ ー プ ン 合同会社

本書の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・
出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。